



土研新技術ショーケース2014in新潟 「新潟県中越大地震からの復興10年の歩み」

公益社団法人中越防災安全推進機構 復興デザインセンター長
総務省 地域力創造アドバイザー
稲垣文彦

 **中越メモリアル回廊** 長岡震災アーカイブセンター きおくみらい
The Chuetsu Earthquake Memorial Corridor Nagaoka Earthquake Disaster Archive Center KiokuMirai

内容

1. 自己紹介・中越防災安全推進機構の紹介
2. 中越大震災の概要
3. 中山間地域の復興の取り組み
4. 地域づくりの足し算と掛け算の法則

自己紹介

- 2004年10月 山古志村災害ボランティアセンターコーディネーター
2005年 1月 山古志村社会福祉協議会 生活支援相談員に就任
2005年 5月 中越復興市民会議を創設、事務局長に就任
2008年 4月 地域復興支援員を育成、バックアップする復興デザインセンターを
社団法人中越防災安全推進機構内に創設、副センター長に就任
2009年 4月 同センター長に就任(現職)
2012年 4月 ながおか市民協働センター長に就任(兼務)
他、総務省地域力創造アドバイザー、みやぎ連携復興センターアドバイザー等

【新潟県外の主な活動】

- ◆東日本大震災
 - ・復興支援員制度設計サポート(総務省)
 - ・復興支援員制度導入アドバイス(宮城県)
 - ・復興支援員及び受入自治体研修(岩手県、宮城県)
- ◆中山間地域の地域づくり
 - ・地域おこし協力隊、集落支援員の研修プログラムづくり(総務省)
 - ・地域おこし協力隊、集落支援員の研修(総務省)
 - ・新・田舎で働き隊の研修プログラムづくり(農林水産省)



中越防災安全推進機構の紹介

1. 中越メモリアル回廊(4施設3パーク)
 - ・長岡震災アーカイブセンターきおくみらい
 - ・おちや震災ミュージアムそなえ館
 - ・川口きずな館
 - ・山古志復興交流館おらたる



2. 地域防災力センター
 - ・中越市民防災安全大学
 - 中越市民防災安全士
(8年間で385名)
 - ・新潟県防災教育プログラム



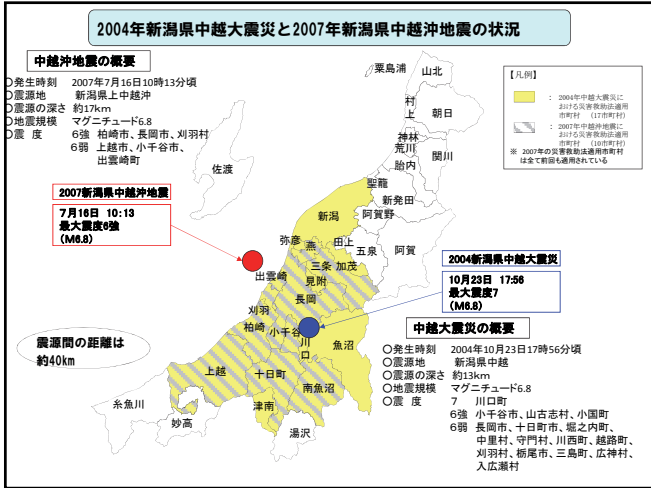
3. 復興デザインセンター

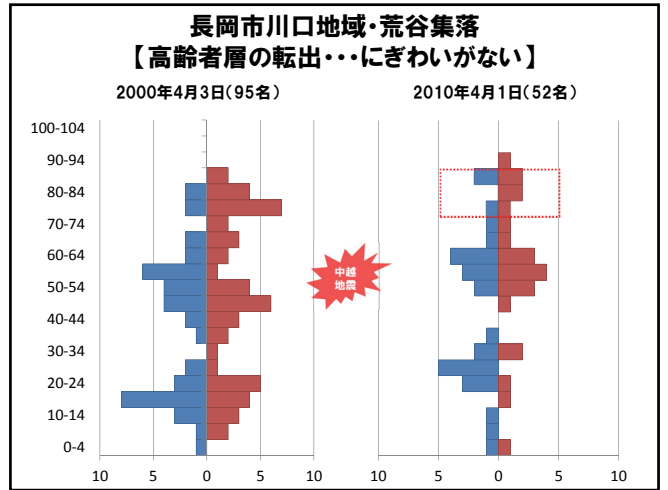
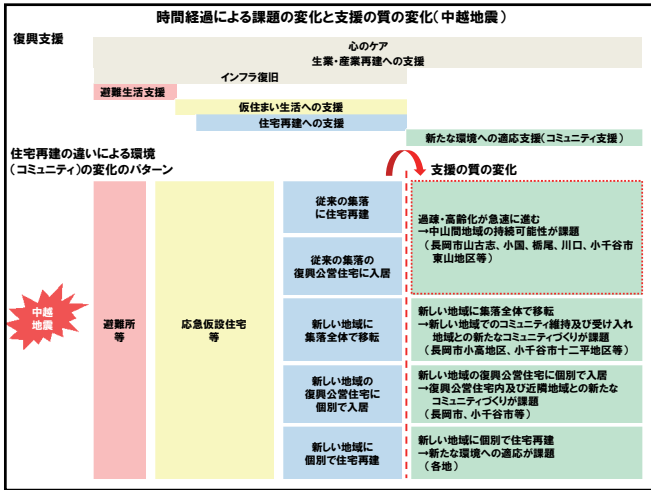
復興デザインセンターの紹介

1. 地域復興人材育成
 - ・「ターン留学」にいがたイナカレッジ」インターンシップ事業
 - ・地域コーディネーター研修(地域復興支援員、地域おこし協力隊、集落支援員等)
 - ・起業支援講座
 - ・にいがたサポート人交流会
2. 全国の地域サポート人の人材育成
 - ・総務省「地域おこし協力隊」、「集落支援員」、受入自治体職員、農水省「新・田舎で働き隊」研修プログラムの開発・研修の実施
3. 東日本大震災の復興支援
 - ・総務省「復興支援員制度」の制度設計サポート、制度導入アドバイス、研修の実施、宮城県へのスタッフ派遣




The screenshot shows the ChuChu website interface. At the top, there are navigation links for 'Home', 'About ChuChu', 'Contact Us', and 'Site Map'. Below this is a main menu with categories: 'About ChuChu', 'Recruitment', 'Latest News', 'Itan Story', and 'Apply'. A featured article titled '「脱・東京」という選択' (The Choice of Leaving Tokyo) is highlighted, featuring photos of young women. A sidebar on the right contains 'News & Topics' and a 'Subscribe' button.





長岡市川口地域・荒谷集落
【外部との交流によるにぎわいづくり】

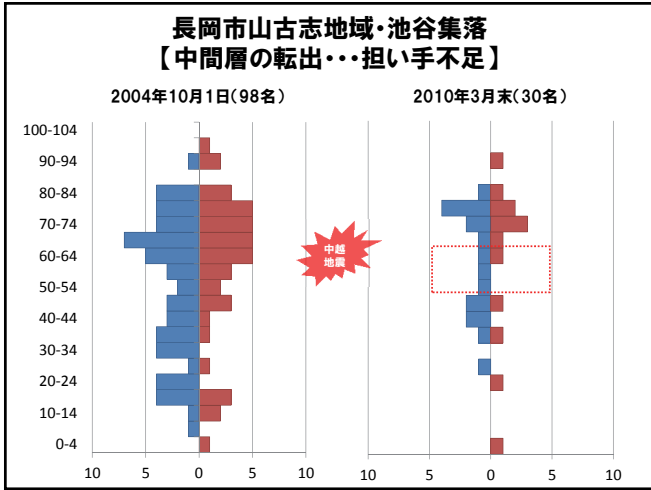
- 地域復興デザイン策定
地域づくりのキャッチフレーズ「本気で付き合える仲間づくり」
- 地域づくり団体「はあ〜とふる荒谷塾」の設立
山菜ツアー、木沢集落との合同福列り、芋ほりイベント、狛江市との交流・物販販売、冬ツアー(スノーシュー、うさぎ狩り等)
- セブンスターズ
若者7名による棚田保全の活動

長岡市山古志木籠集落(集落の近くに移転)

交流施設・直売所を設置

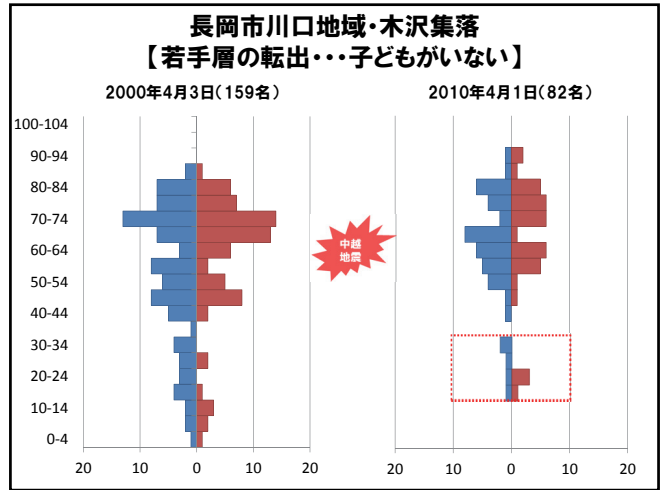
水没家屋を残し、地震の教訓を伝える

木籠集落水没家屋



長岡市山古志地域・池谷集落
【自治の仕組みの改革と外部との連携】

- 池谷集落の機構改革
・前区長(昭和15年生)から現区長(昭和36年生)に世代交代
→40~50代の5名が交替で区長をやることになる
役員は区長と会計のみ、全員参加の総会で議論(女性の参加)
- 生涯現役を目指す営農組合歩夢南平
・集落営農組合の設立
→田植え、稲刈りの請負、草取り、水管理は各自、収穫後の家族旅行
- 年をとってからでもできる農業「かぐら南蜜保存会」
・かぐら南蜜(作物が軽い、収穫は7月から霜が降りるまで)
米は、1反(300坪)で136,000円(8俵)
かぐら南蜜は、1畝(30坪)で400,000円(550本)
- 三ヶ(池谷集落、大久保集落、楢の木集落)
大字単位の連携
・盆踊りとさいのかみを共同開催
・三ヶ校友会(東京)の発足(250名)
→4月総会、8月盆踊りツアー



長岡市川口地域・木沢集落【定住・永住促進】

1. 地域復興デザイン策定・地域づくり団体「フレンドシップ木沢」
・地域づくりのキャッチフレーズ「定住と永住の促進による集落活性化」
2. 廃校を活用した「朝霧の宿やまぼうし」の運営を通じた外部との交流
・二十村郷盆踊り(川口荒谷・小千谷塩谷・山古志梶金)、大学生との交流、グリーンツーリズムの取り組み(越後雪かき道場等)
3. インターンシップ受け入れ

負けるもんか、の誓いです。
木沢復興7か条

1. 木沢にしかできないことこたわる
2. 木沢らしさを楽しむ
3. 木沢らしさを伝える
4. みんなでやる
5. 収入を得られるようにする
6. よそのいい・得意も来てくれる人を招き・定住りで迎える
7. 適切な情報を発信する

木沢復興7か条

1. 木沢にしかできないことこたわる
2. 木沢らしさを楽しむ
3. 木沢らしさを伝える
4. みんなでやる
5. 収入を得られるようにする
6. よそのいい・得意も来てくれる人を招き・定住りで迎える
7. 適切な情報を発信する

十日町市池谷集落 8戸から6戸(13名)に、高齢化率62%、2004年 限界集落から奇跡の集落へ 移住者と子どもの誕生で8戸、民宿1軒(19名)、高齢化率42.1%

体験交流

米の直販

空き家の改修



集落を補完する地域経営・総合型NPO

◆平成の市町村合併
役場が遠くなった：自治の補完、集落活動の連携・補完の必要性
→合併前の市町村単位の地域経営・総合型NPOの設立

1. 小国地域(旧小国町) NPO法人MTNサポート(2008年設立)
 - ・コミュニティバスの運行
 - ・高齢者支援(6,000人の人口の25%が後期高齢者)
 - ・お弁当宅配、買い物支援、生きがいつくり(直売所)等
 - ・株式会社もつたいない村との連携
 - ・外に出た子ども達から賛助会員になってもらう
2. 川口地域(旧川口町) NPO法人くらしサポート越後川口(2011年設立)
 - ・コミュニティバスの運行
 - ・川口運動公園の指定管理
 - ・川口さずな館の運営管理
 - ・地域づくり事務局機能(事務局員9名)
3. 山古志地域(旧山古志村) NPO法人中越防災フロンティア(2006年設立)
 - ・コミュニティバスの運行
 - ・越後雪かき道場の運営
 - ・山古志復興交流館おたるの運営管理
 - ・震災の語り部育成
 - ・地域住民の96%が会員

